

事業所職員向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	2		・配置数は満たしているが実際の支援上は必要と感じる。 ・休んだ場合に代わりに入るスタッフの負担が大きい ⇒職員の休み希望による代替の確保ができるよう努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	1		・りんごからバナナの部屋への道は整備して欲しい。 ⇒次年度中に除草シートなどを敷き、通りやすくします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	1	・清潔を保つよう努力している。	・古い建物なので、害虫など普段の清掃だけでは完全に清潔にきれない。 ⇒毎日の清掃に努めるとともに、チェックリストを作成し、清掃が行き届くようにしていきます。 また、年2回は大掃除を実施し、エアコンのフィルターや高所など、普段行うには難しい箇所を重点的に清掃していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0		⇒常勤、非常勤に関わらず、研修費の補助を行っていること、法人全体での研修だけでなく、事業所単独で年2～3回程度研修を行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0		⇒年1回程度は発達検査を実施している、また支援計画の際に保護者の方のニーズについても面談等で確認し、支援につなげていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0		⇒年1回程度は発達検査を実施し、お子さんの成長を確認するとともに、お子さんについて理解し、支援に活かしていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	・密に連絡・報告が行われている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0		⇒通所されるお子さんの理解に合わせて、積み重ねて理解を深め、自立して参加できること、様々な活動を提供することで、興味の幅が広がるよう考えて活動を提供していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0		
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0		⇒毎朝スタッフ全員でミーティングを行い、支援のポイントについて確認した上で、日々の支援に当たっています。	

事業所職員向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター）

チェック項目		はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	・振り返りが出来ない時はメモを残したり、翌日に伝えたりという工夫をしている。	⇒終礼も毎日実施し、ヒヤリハット報告や、お子さんの様子などを共有しています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0		⇒一人一人のお子さんの様子を記録するとともに、ヒヤリハット報告もまとめ、支援につなげています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	0		⇒年3回程度、市の自立支援協議会に参加し、情報収集を行っています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	0		⇒必要に応じて、保育園や幼稚園の訪問を実施しています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	0	・就学支援シートの記入のご協力をしている。	⇒小学校入学時には就学支援シートの利用を勧め、お子さんの様子や当センターでの取り組みなども含め記入し、引継ぎとしています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0		⇒年3回程度、他施設の公認心理師によるスーパーバイズを受け、支援の質が向上するよう努めています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	3		・交流する機会は以前、近所の保育園の園庭開放を利用していたが、保育園が閉園したため、その機会がなくなってしまった。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	1		⇒年3回程度、市の自立支援協議会に参加し、情報収集を行っています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0		⇒グループ療育では連絡帳や送迎時にお子さんのご様子について伝える機会を持つ他に、必要に応じて面談を設け、お子さんについて共有できる場にはしています。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	0	1	・年何回か勉強会をしている。	⇒ペアレントトレーニングは行う予定はないが、保護者会や、保護者勉強会などは今後も定期的実施していきます。	
保護者への	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を	6	0	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0		
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0		・今年度はコロナ禍で延期や中止になっている。 ⇒父母会はないが、グループ療育をご利用の方は、年数回保護者会を実施しています。また個別療育でも同様に保護者勉強会などを企画し、保護者同志が関わりを持てる機会を設定していきます。

事業所職員向け 2021年度 児童発達支援自己評価表 自己評価表（コラボいなぎ いなぎこども発達支援センター）

		チェック項目	はい	N/A	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0		⇒グループ療育では1か月の活動予定表を配布しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	2		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	1	・災害時の対応、特に送迎の場合での引き取りが不明瞭に感じる、 ・避難訓練は毎月実施している。	・避難訓練は定期的には実施しているが、防犯マニュアルは周知が徹底できていない。 ⇒防犯マニュアルも作成し、周知できるよう準備します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0		⇒毎月グループ療育では避難訓練を実施しています。また第一避難所まで徒歩で移動することを想定し、月1～2回程度第一避難所の近くまで散歩を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	0		⇒利用登録票の記入をお願いし、服薬等について把握するようにしています。またグループ療育ご利用の方で服薬の必要なお子さんは事前に主治医より服薬指示書を書いてもらい、服薬マニュアルを個別に作成しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0		⇒利用登録票にてアレルギーの有無を把握しています。アレルギーのあるお子さんに対してはおやつや調理などではアレルゲンとなる食材を除去して提供しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0		⇒毎日終礼にてヒヤリハット報告を実施しています。また1か月ごとに集計を行い、本部に報告しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0		⇒年1回程度虐待防止研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	0		⇒実施しています。